

令和5年度

事業計画書

令和5年4月1日から

令和6年3月31日まで

令和5年度 事業計画

【公1】公益目的事業

大学及び大学院に修学する国内外の学生であって、志操堅実、学力優秀、かつ、身体強健でありながら経済的理由により、学業の継続が困難な者に対し、育英奨学の事業を行い、もって社会に有用の人材を育成する事業を行う。

上記事業目的を達成するための手段として「奨学金の支給事業」「教育研修及び人材交流に関する事業」を行う。

1. 奨学金の支給事業

(1) 奨学生数と給与金額

①奨学金の内容

- ・奨学金の種類：給与奨学金（返還義務なし）
- ・支給期間：奨学生の在学する正規の最短修業期間
- ・支給金額：大学学部学生 1ヵ月2万円
大学大学院学生 1ヵ月2万5000円

②奨学生数（予定）と奨学金予算

大学学部学生	216名（継続142名、新規74名）
大学大学院学生	42名（継続32名、新規10名）
計	258名

※大学大学院学生継続奨学生のうち1名は前年度休学による奨学金の支給停止を行っていたため、本年度は11ヶ月分支給することとする。

※新規奨学生については、応募の状況により、最大10名まで追加採用することを可能とし、下記予算は10名追加で計上しております。

奨学金予算 67,420,000円

※新規奨学生を最大10名（大学大学院学生を10名）追加採用したものととして計算しております。

(2) 新規奨学生の選考

①奨学生の募集方法

大学及び大学院1年生を対象とし、「大学推薦による方法」と「公募による方法」により、新規奨学生84名の採用を予定している。ただし、応募の状況により、最大10名まで追加採用することを可能とする。

- ・大学推薦（54名を予定）

推薦依頼校9校に各6名の奨学生候補者の推薦を依頼する。

- ・公募（30名程度を予定）

募集要項を当会ホームページ、全国で販売されている雑誌（螢雪時代 臨時増刊号）に掲載し、学生からの直接応募を受け付ける。

②奨学生の選考方法

「奨学金給与規程」に基づき、7月中に、奨学生選考委員会による選考を行う。

選考は、推薦書・学業成績・課題論文等を選考基準に照らし総合的に審査をし、選定する。

2. 当会の奨学生を対象とする教育研修及び人材交流に関する事業

奨学金を受ける学生に対し、研修及び交流の機会を提供することを目的として、次の行事の開催を予定している。

①研修会・懇親会の開催

※8月から9月頃に大阪の会場で、奨学生に対し交流の機会を提供し、また、奨学生の学業・生活状況を確認するとともに、研修会・懇親会の開催を予定している。

②就職活動に関する研究会兼懇親会

※10月から12月頃に東京または地方の会場で、奨学生に対し就職活動に関する情報交流の機会を提供するとともに、懇親会の開催を予定している。

③研修旅行

※数年毎を目処に出捐企業であるダイキン工業株式会社が所有している研修所等において、奨学生間の交流の機会を提供するとともに、毎回異なるテーマを設定し、当該テーマについての研修を予定している。

④卒業式

※大学生生活の成果を発表するとともに、奨学生間の交流を図ることを目的とし、3月に卒業式の開催を予定している。

⑤10周年特別交流行事

※奨学生間の交流並びに奨学生とOBOG(卒業生)との交流を深めることで、奨学生が実社会に有用な人材として成長することを目指し、特別交流事業を予定している。

⑥事業予算

16,000,000円

3. 特別奨学生支援資金に基づく特別奨学生支援活動

自然災害や主たる生計維持者の不慮の事故・病気などにより生計が急変した学生の緊急支援

(1) 奨学生数と給与金額

①奨学金の内容

- ・奨学金の種類：給与奨学金（返還義務なし）
- ・支給期間：奨学生の在学する正規の最短修業期間
- ・支給金額：大学学部学生 1ヵ月2万円

②奨学生数（予定）と奨学金予算

大学学部学生 18名（継続9名、新規9名）

③奨学金予算 4,380,000円

4. 奨学生の自立的活動を支援することによる教育研修事業

奨学生が、実社会での経験を積んだOBOG（卒業生）などと協力をしながら、自立的に活動をすることにより、成長を促す教育研修事業を予定している。

①活動期間 通年（自律提案型）

②事業予算 10,000,000円